

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症児デイサービスひろがり1くみ			
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～	令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～	令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月4日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子さんのことを理解し、保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画作成されている。 また、それをもとに、より良い支援になるよう努めている。	・保護者様との会話、やり取りを重視し、お子さんの成長にあった支援をおこなっている。また、食楽の日など、食事に重点を置いた支援、ご家族の相談をおこなって、より良い支援につながる様努めている。社内研修も充実させ、スタッフの力量向上にも積極的につとめている。	・日々の丁寧な支援を基に、スタッフの研修、力量アップを行うことにより、質の高い支援が出来るような体制を整えていく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害計画において、火災に関する訓練は重点的に実施されているが、津波や2次災害においての訓練はまだ不十分である。	重症児デイでの特徴もある、自身で動くことが出来ない、医ケア児多いことから、実際に災害が発生したことを想定した、リアルな避難訓練をする必要がある。	非常電源、熱源、食料の確保はできている。実際の災害を想定した、トータルの動きが出来るよう、改めて訓練を見直す。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 重症児デイサービスひろがり1くみ

公表日 令和7年3月31日

利用児童数

回収数 13/20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	2	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	0	5	8	園側がそのような機会を作るものなのか などと思います	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	0	2	6		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	0	0	0		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	0	6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	0	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				令和7年3月31日	
重症児デイサービス ひろがり1くみ							
		チェック項目	はい	いいえ	わからない 無回答	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	3	0	動線や物の配置に気を付けている。	歩ける子どもにはせまく感じる。家族支援で受け入れる際も予備力のある受け入れが必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	0	看護師の配置が多く、医ケア時に安心。	基準配置は満たしているが、お子さんの状態によっては、職員への負担もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	0	サービス提供時間後に毎日片づけ清掃活動に応じた物品の整理をしている。	物が多いので、子供の動線が狭いと感じる時がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	1	床暖房があり、温かい	布団やクッションなど、消毒はしているが、すぐに洗えないものは、定期的に洗った方が良い
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	2	個別の部屋は、2部屋用意している。	個室や隔離の部屋を明確に分けた方が良い
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	3	月一回は話し合いがある。職員会・職員研修会・毎日の打ち合わせ等で共有理解できている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	3	アンケート実施。送迎時の意見交換	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	3	アンケート実施、意見箱を設置	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	4	第三者機関はおこなっていない。	検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	0	年5回の外部向け主催研修に職員も参加。月1回の職員研修。週1回の専門研修と基礎研修を実施している。外部研修にも積極的に参加	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	4		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	4	ストックからひろいあげ、情報交換をし、情報をまとめて保護者さんとも話し合うシステムになってきている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	5	ストックで共有され、意見交換の場としている。正職員会、職員会等でケース会をしている。	ケース会議が正しく行われているか知らない 非常勤職員がいるので、伝えていきたい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	2	ストックですぐに確認できる	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	4	摂食評価表、発達検査など必要に応じて取り入れている。全員のアセスメントは、児発管中心に行っている。	経験と勘で進めていることが多いと思っている職員もいるので、伝えていきたい。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	2	本人支援・家族支援が徹底できるように、詳細な内容を記入している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	4	季節ごとに創意工夫して、チームで取り組んでいる	個人の動きが強くなる事があると思う職員もいるので、もっとみんなを巻き込んだ活動ができると良いと思う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	3	毎日ねらいを定め、担当についたとき、それに基ついて実施している。 毎月の変化がある	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	2	ふれあいタイム、ランチタイム、お楽しみタイムは集団で行い。個別訓練、個別政策などは、個別に取り組んでいる	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	1	毎朝、打合せを行い、確認している。その内容などは、その場にはいない職員にも一斉に配信している。ストックで共有され、意見交換の場としている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	2	振り返りはそれぞれストックにて行い、朝の打ち合わせにて対応している。気付いた点を話し合える環境にある。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	1	ストックで共有され、意見交換の場としている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	3	職員会などで、モニタリングの情報交換をしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	2	積極的に会議に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	2	積極的に会議等に参加している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	2	支援学校の先生、保育園との連携など、力を入れ、研修やボランティアとして受け入れている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	2	保護者と相談の上、必要に応じて行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	3	0	7	ひろがり主催の研修会などの案内を持参したり、お子さんの情報交換をしたり、連携をしている。	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	3	0	7	ひろがり主催の専門的な研修会を開催し、職員も研修している。外部の研修会には、積極的に参加している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	0	6	都合がつく範囲で参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	1	4	必用に応じて、連携し、情報交換やお互いの主催する研修会に参加しあっている。	関連がわからない者もいるため、周知徹底していきたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	4	近隣の保育園との交流を計画中。キッズボランティアとして、職員の子どもとの交流などもしている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	1	面談、電話、ライン、送迎の際にも行っている。毎日の連絡帳でも共通理解を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	1	ひろがり主催の研修会に参加を促したり、土曜日の食楽の日などで、家族支援に力を入れている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	2	ていねいに行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	1	できるかぎり面談して、ていねいに意向を聞きするようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	1	得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	1	子育て支援を重視し、いろいろな機会を通じて悩みなどの相談に応じ、できる限りの助言などを行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3	2	食楽の日を作り、食事支援を通し、保護者同伴でのご利用、保護者同士で交流できる場づくりを行っている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	0	キッチンだよりで「食べる支援」について通信を発行している。インスタ、フェースブックで、行事や日々の取り組みを発信してい	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1	1	職員には、個人情報の取り扱いについて、誓約書で確認している。	職員同士の共有ソフトフェアに関しては、個人でのセキュリティ管理を行っている。個人情報の取り扱いについての教育は定期的に行った方が良いと感じる。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	0	職員配置が手厚く、すぐに表情の変化に気づける。毎日の連絡帳や保護者とのラインによる意思の疎通、情報伝達を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	2		未実施。今後少しずつ取り組んでいきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	1	新しい情報の収集と連絡について周知し、ラインで流している。	職員会を通しての教育はあるが、定期的に実施し、周知徹底をさらに図れると良い。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	3	定期的な訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	0	個人別に医療的な情報を整理し、すぐに確認できるようにしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	1	指示書に基づいて行っている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	2	主に職員研修会で研修し、随時訓練を行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	2		十分とは言えないので、周知するようにしたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	0	毎月の職員会で、ヒヤリハット報告を行って共有し、対策を検討している。ストックでも共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	0	年に2回程度、職員研修会を行い、外部の研修会へも積極的に職員が参加している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1	2	身体拘束にあたりそうな事例について、職員会などで話し合っている。	把握していない者もいるので、周知徹底したい。